



2020年度 神戸 YWCA

事業計画書

神戸YWCA

第 32 総会期
日本 YWCA 全国会員総会決議

1. 主題

平和を実現する人々は幸いである

—マタイによる福音書 5 章 9 節—

2. 日本 YWCA のビジョン

地域で女性たちが主体的に活動することを通して
以下の社会をめざします。

- (1) 平和憲法が生かされ、核も暴力もない社会
- (2) 女性と子どもの尊厳を守る社会
- (3) 若い女性がリーダーシップを発揮する社会
- (4) 多世代・多文化で多様な背景を持つ人びとを
尊重する社会

神戸 YWCA ビジョン

一人ひとりが大切にされる社会

神戸 YWCA 2020 年度活動目標

共に社会を変える一歩を踏み出す

2020年度 神戸YWCA事業・活動計画

I 平和・人権事業

■平和活動部

【活動方針・活動目標】

- ・非核・非暴力の平和な社会を求める。
- ・若い人、関心のない人たちにも参加してもらえるようなプログラムを進める。
- ・平和憲法を守る活動を継続する。

【活動計画】

①定例ミーティング

目的：平和活動の具体的推進と部メンバー相互の和合

内容：平和活動の実施にあたり、プログラム作成と、活動に伴う問題・課題を部メンバー間の自由な意見交換を通して解決し、合意する。

対象者：部メンバー

実施頻度（回数）：1回／月

実施場所：神戸YWCA本館

②平和集会

目的：活動方針・目標を具体的に進めるための集会を開く。

内容：若い女性と一緒に、彼女たちが自身の活動について発表する会を企画する。

対象者：一般

実施日時：秋頃

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：神戸YWCA本館または神戸市青少年会館

③ゲスト学習会

目的：平和に関連する様々な問題や課題について、共に考え、意見を交換する。

内容：講師による問題提起と、参加者全員による自由な話し合い。

対象者：一般

実施日時：土曜日午後

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：神戸YWCA本館

④憲法出前プログラム

目的：憲法について考えたことのない人たちを中心に、憲法や立憲主義について考えてもらう機会を提供する。

内容：対象者に合わせた最近の社会問題を切り口に、憲法が生活と深く関わっていることを実感してもらい、同時に紙芝居を通して立憲主義を学ぶ。必要に応じて、改憲の動きと草案を紹介する。

対象者：若い世代を中心に一般

実施日時：適宜

実施頻度（回数）：3回／年

実施場所：出前先（学校・教会など）

⑤持ち寄り学習会

目的：平和に関する知識を深め、視野を広げ、互いに啓発し合うことで、平和活動の糧とする。

内容：メンバーがそれぞれテーマを持ち寄り、学び合う。

対象者：部メンバーおよび一般

実施日時：部会前

実施頻度（回数）：2回／年

実施場所：神戸YWCA本館

⑥「平和活動部ピースレター」の発行

目的：活動を通して得た情報・体験・課題などを報告し、シェアすることで、より多くの人たちと共に平和を考え、活動する足掛かりとする。

内容：平和活動部、およびピース・ブリッジの活動を通して得た情報・体験・課題の報告と考察。A3両面二ツ折カラー、4ページ。

対象者：一般

実施日時：機関紙発行時
実施頻度（回数）：1回／年

■現代史勉強会いもづる

休会中

■ピース・ブリッジ（Peace Bridge）

【活動方針・活動目標】

- ・他団体、グループと橋を繋ぎ、協力して平和構築活動を進める。
- ・様々な社会問題をテーマに「学び、語り合い、つながる会」を催し、一人ひとりが大切にされる社会を目指す。

【活動計画】

①学び、語り合い、つながる会

目的：一人ひとりが大切にされる平和な社会を目指す。

内容：講師のスピーチの後、互いに語り合う。

対象者：一般市民

実施日時など：金曜日か土曜日の14時～16時

実施頻度（回数）：5～6回／年

実施場所：喫茶「エスポワール」

②読書会

目的：学び、考えを深め合う。

内容：一冊の書を読み、話し合う。

対象者：一般市民

実施日時など：金曜日か土曜日の14時～16時

実施頻度（回数）／期間など：1～2回／年

実施場所：喫茶「エスポワール」

*上記の他に「非核の政府を求める兵庫の会」などの講演会に協賛、参加する（4～5回／年）

■被災者支援プロジェクト

【活動方針・活動目標】

セカンドハウス・プログラムは、日本YWCA「com7300」の活動方針に沿って今年度も実施する。また利用者家族との交流も実施し、福島的生活者の方々から学び続ける。

なお発災から10年目となる今年、これまでの活動を振り返ると共に今後の活動の形を検討する。

【活動計画】

①セカンドハウス・プログラム

目的：放射能被災下に生活する家族の一時保養

内容：・日本YWCAとの協働事業（神戸を含めて全国に3つのセカンドハウスがある）

神戸YWCA関係者から家屋を一定期間貸し出してもらい、保養に用いる。（利用者には交通費の一部を支援。水道光熱費や家賃は無料）

・利用家族との交流を通して、福島の現状を学ぶ。

対象者：福島県をはじめ近隣県の放射能被災下に生活する家族および単身女性

実施頻度（回数）：申し込みがあり次第随時

実施場所：兵庫県明石市

②震災10年目以降の活動検討

目的：東日本大震災および福島第一原発事故から10年目を迎え、今後どのように福島の方々と繋がっていくか、

2021年度以降の活動の形を確定する。

内容：日本YWCAの動きとも連動しつつ、神戸YWCAとしての今後の被災者支援プロジェクトの形をメンバーで協議、検討する。必要であれば、外部講師も招き情報収集する。

対象者：メンバー、会員

実施頻度：随時

II 国際理解・多文化共生事業

■国際相互支援部

【活動方針・活動目標】

国際理解を深め、日本国内で暮らす在日外国人との共生について共に考え、学び合う開かれた機会を提供する。また、メンバーそれぞれの活動についても知り合う機会も持ち、学びと交流を深める。

【活動計画】

①定例ミーティング

内容：情報共有・プログラム企画

対象者：情報を共有するとともに、プログラムの企画について話し合う。

実施日時など：未定

実施頻度（回数）／期間など：不定期（4～6回／年）

実施場所：神戸近隣市内カフェ、YWCA本館・分室など

備考：部のメンバーが多忙であるため、多くのメンバーが集える場所や時間を設定する。飲食代は自己負担。

②Taste the World（TTW / 世界の料理を食べよう）

目的：世界の食文化や生活、状況を知り、共に考える機会を提供する。

内容：複数の在住外国人の方に食事を提供していただき、その食事を囲んでその食事や国のお話を聞き、交流を深める。料理を通して自国のことを話してくださる留学生や生活者の外国人の方々、その国の料理を食べたいと思っている人、海外の文化に興味がある人、多くの人と知り合いたい人など、どなたでも参加していただける開かれた会にしたい。

対象者：どなたでも

実施日時など：未定

実施頻度（回数）／期間など：1回／年

実施場所：神戸YWCA本館

III 地域福祉事業

■地域福祉部

①分室の地域交流スペースとしての活用

- ・分室の目的、情報発信のあり方（ホームページ、掲示板）
- ・各グループの課題をつかみ、解決に向けた取り組みを行う。
- ・利用者の声を聴き、ボランティアの協働をすすめる。

②情報発信誌「わいわい通信」を年1回発行とする。

③分室ボランティアの親睦と交流のために「互苦労さん会」を行う。

【2020年度活動計画】

①定例ミーティング

目的：活動方針の具体化のための論議をおこなう。

内容：地域交流スペースとしての機能維持、「わいわい通信 30号」の発行、互苦労さん会の開催

対象者：地域福祉部メンバー

実施日時：適宜

実施頻度（回数）：実施プログラムに合わせて適宜（2か月に1度程度）

実施場所：神戸YWCA本館、神戸YWCA分室

②地域のお店「くるくる」

目的：「使い捨てしない、丁寧な生活」をキーワードに女性服やアクセサリーを集め、適切に提供するスペースを開く。

内容：リサイクル品の回収、開店準備、当日販売

対象者：地域住民

実施日時：第3木曜日 13時30分～15時

実施頻度（回数）：1回／月

実施場所：神戸YWCA分室

③互苦労さん会

目的：分室で活動するボランティアの各グループを越えての親睦・交流

内容：昼食会

対象者：分室で活動するボランティア全員

実施日時：1回／年、新年会時期の土曜日を予定

実施場所：20～30人が集える飲食店

④木曜カフェ

目的：会員、ボランティア仲間、地域の人々が気軽に立ち寄り、過ごすスペースにしたい。

内容：コーヒー、紅茶提供。有機野菜、無添加調味料、乾物などの販売。

神戸YWCAグループ活動を待合スペースにて開くことができる。

対象者：地域住民

実施日時：ほぼ毎週木曜日、40回／年

実施場所：神戸YWCA分室

■新生活支援活動（名称未定）

【活動方針・活動目標】

- ・プロジェクトY分室での議論を受けて、神戸YWCA分室活動の今後の展開として、介護保険では届かない生活の困りごとを解決する「生活支援わいわい」、居場所づくりとしての「新食事会」を実施する。
- ・住み慣れた地域で豊かに暮らしたいとの願いを共有する人たちと「お互いさま」の精神で活動。
- ・これまでのわいわいランチやわいわい亭、金曜食事会の利用者とボランティア仲間、まごの手の利用者の繋がりを生かしたい。
- ・「生活支援わいわい」は、まごの手と協働し、ヘルパーにはできない介護保険外の（しかし利用者にとってリーズナブルな価格で）生活支援を実施する。
- ・9月から地域福祉活動のグループとして発足する予定である。
- ・4月から開始までの活動は、コーディネーターの決定、他団体の見学、研修、支援可能なサービスの整理、利用料設定、支援者の募集、試行活動など。

【活動計画】

①（仮）新食事会

目的：住み慣れた地域で豊かに暮らしたいとの願いを共有する人たちと「お互いさま」の精神で食事会を開く。

内容：サービスの受け手と提供者の垣根を作らず、参加者の知恵と工夫と働きでつくる食事会としたい。第1・第3週を今まで通りの美味しいお弁当をいただく会として運営。第2・第4週を、みんなでつくる食事会として開催。第4週には振り返りの会を行い、翌月の計画を立てる。

対象者：これまでのわいわいランチやわいわい亭、金曜食事会の利用者とボランティア仲間から始める。

実施日時：毎週金曜日9時～15時（開催時間は10時～14時）、4月17日から開始予定。

実施頻度（回数）：約40回／年（予定）

実施場所：神戸YWCA分室

②生活支援わいわい

目的：まごの手と協働し、ヘルパーにはできない介護保険外の（しかし利用者にとってリーズナブルな価格で）生活支援を実施する。

住み慣れた地域で豊かに暮らしたいとの願いを共有する人たちと「お互いさま」の精神で、生活支援を行う。

内容：介護保険では届かない生活の中での小さな困りごと（草取り、電球替え、掃除など）を解決する。

まずは他団体の活動を学ぶところから開始し、活動スタート時期は未定。

対象者：一般、まごの手利用者（予定）

実施日時など：未定

■わいわいダイルーム

【活動方針・活動目標】

- ・地域の高齢者が、できるだけ長く、生き生きとした豊かな在宅での生活を送ることができるよう、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりのためのプログラムを提供する。
- ・利用者が安心して在宅生活を続けることができるよう、介護・医療・福祉などの専門職との顔の見える関係をつくり、連携を図る。
- ・利用者、スタッフ、ボランティアが共に昼食の食卓を囲み、手づくりの食事をいただくことにより、心と体の栄養を向上させる。

【活動計画】

①わいわいダイルーム

目的：・神戸市総合事業の地域拠点型一般介護予防事業（神戸市委託）

- ・高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりプログラムの提供を行い、手づくりの昼食を提供することにより、介護予防に資する活動を実施する。

内容：・看護師、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、歯科医などの専門職による介護予防講座（1回／月）
 ・音楽療法士、健康運動指導士などによる介護予防プログラム（1回／月）
 ・介護支援専門員、介護福祉士などによる情報提供（随時）
 ・健康体操、ゲーム、談話などのプログラム（毎回）
 ・ボランティア講師によるクラフト製作、書道、理科実験工作などのプログラム
 ・手づくりの昼食の提供

対象者：神戸市在住の65歳以上の高齢者

実施日時など：毎週火曜日 10時～15時

実施場所：神戸YWCA分室

備考：参加費 300円、給食費 700円、趣味活動費 100円

■弓の木歌の集い

【活動方針・活動目標】

弓木南市営住宅の高齢者を対象に、歌を通して生活の活性化と親睦を図る。しかし市住側も神戸YWCA側も共に高齢化しているため、2020年度計画は未定。

■ちやいやあらんど

【活動方針・活動目標】

- ・分室の機能の変化を活用できるイベントを考える。
- ・本館での活動に移行していく計画を立てる。
- ・他グループとの連携のための横のつながりを作っていく。
- ・定例会に加えて「ぬいぬい」「スクラップブックング会」「ちくちく」の月1回開催。
- ・神戸聖愛教会「善隣カフェ」を定例ランチ会にする。
- ・次のリーダー・企画運営者の発掘と育成。

【活動計画】

①定例会ちやいやあらんど

目的：育児中のお母さんの交流、息抜きの場を作る。

内容：お茶とお菓子をつまみながらおしゃべりする。

対象者：育児中の親子

実施日時など：第1・3・5水曜日 11時～15時（特別なプログラムのある日は10時からもあり）

実施頻度（回数）／期間など：2回／月

実施場所：神戸YWCA分室

②スクラップブックング会

目的：子どもがいるとしにくい細かい作業に集中できることを楽しむ。

内容：スクラップブックングを作る。

対象者：ちやいやあらんど参加者

実施日時など：第1・3・5水曜日午前10～12時

実施頻度（回数）／期間など：1回／月

実施場所：神戸YWCA分室

③ぬいぬい

目的：子どもに邪魔されずに針作業のできる時間を作る。

内容：「手づくり布おもちゃボランティアサークルほたる」さんのおもちゃを作る。

対象者：ちやいやあらんど参加者

実施日時など：第1・2・4・5金曜日のいずれか午前10～12時

実施頻度（回数）／期間など：1～2回／月

実施場所：神戸YWCA分室

④ちくちく

目的：神戸YWCAワッペンを作る。

内容：子どもたち中心に神戸YWCAのワッペンを使って思い思いに裁縫を楽しんでもらう。

対象者：子ども（主に幼稚園児～小学生）

実施日時など：土曜日 12時～16時、長期休暇時は木曜日 14時～16時も検討中

実施頻度（回数）／期間など：不定期

実施場所：土曜日は神戸YWCA本館、平日開催は神戸YWCA分室

■夜回り準備会

【活動方針・活動目標】

100年を考えると、戦争に協力したことを忘れられない。最後の25年は震災と救援活動から学んだことが大きかった。夜回り準備会は救援活動の中でしんどい状況にありながら救援されなかった人との共生を目指してきた。とりあえず今、目の前で困っている人を支えようと思うが、困難をもたらす原因にも目を向きたい。多くの人を貧困に追いやる新自由主義政策、特に格差の拡大、非正規労働、ギグワークについて勉強し、労働運動についても考えたい。

実際には、夜回りを続け、必要なばあい、生活保護申請（福祉事務所同行、住まいの確保）、病気治療の支援、今いる場所からの追い出しや、いやがらせなどにも取り組みたい。また野宿という可視的な形でない、ネットカフェなどでのホームレス状態の人の問題を可視化したい。参加希望者や、支援を必要とする人とつながれる回路を作りたい。昨年はホームページを作ろうとしたが、神戸YWCAではグループ独自で独立したホームページ創設は認められないとのことで、違う仕方を模索したい。

【活動計画】

下記に加えて、報告書作成（夜回りなどで気が付いた問題を発信する。支援してくださった方に報告する）、神戸市に要請（必要な問題について神戸市に要請する）、学習（国の貧困対策や労働の状況。貧困のあり方などを学ぶ）も実施する。

①夜回り

目的：野宿している人の現実に触れ、私たちの先入観を正し、手伝えることをする。

内容：話を聞き、交流し、必要なこと可能なことをする。

対象者：主として灘区で野宿している人

実施日時など：第2・第4土曜日の夜

実施頻度：24回／年（通年）

実施場所：野宿している人のいる場所。神戸YWCA分室に集まり訪問する。

備考：持参するおにぎりは分室で作る。

②昼回り・病院訪問・福祉事務所同行・住まい確保

目的：昼回りは夜回りでできなかったことの補完。

内容：新しい方に会う。保護申請や病気治療できるよう手伝う。

対象者：必要な人

実施日時など：不定期。要望があったとき

③神戸「冬の家」越冬活動参加

目的：閉庁期の相談活動と交流。

内容：炊き出しを担当する。

対象者：希望する人

実施日時など：歳末の閉庁期のうちの1日

実施頻度（回数）：準備を含めて2日

実施場所：東遊園地（予定）

④ミーティングと学習会

目的：メンバーの共通理解形成

内容：更生センター見学・勉強会

対象者：夜回りメンバー

実施日時、場所など：未定

■声の奉仕

【活動方針・活動目標】

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行う。技術向上のため月1回講師による朗読の学習、指導を受け、所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団を通じ、各種図書の録音・編集・デジタル化などしたものをリスナーに発送。

①例会／連絡会

目的：声の奉仕グループの運営

内容：日赤運営委員会報告、声の奉仕運営に関する話し合い、担当するCD出版物の内容決定など

対象者：メンバー
実施日時など：第2火曜日
実施頻度（回数）：11回／年（8月を除く）
実施場所：神戸YWCA本館

②例会／朗読勉強会

目的：朗読技術などの向上
内容：実際に朗読し、講師の指導を受ける。
対象者：メンバー

実施日時など：第4火曜日
実施頻度（回数）：11回／年（8月を除く）
実施場所：神戸YWCA本館

③発声練習／「つちのこ」企画など

目的：「つちのこ」の企画、制作など
内容：・発声練習
・年1回担当の「つちのこ」の企画、制作など
・単行図書の提案など

対象者：メンバー有志
実施日時など：適宜
実施頻度（回数）：11～20回／年
実施場所：日赤兵庫県支部

④録音、編集

目的：録音、編集
内容：神戸YWCAが担当するPHPの録音、花時計・「つちのこ」の録音・編集、PHP全体の編集
対象者：担当メンバー
実施頻度（回数）：適宜
実施場所：日赤兵庫県支部、各自宅

■カフェもぐもぐ

【活動方針・活動目標】

コミュニティーカフェオープンを目指し、少しずつ準備を始める。

- ・当事者の声を聴きながら活動を進めていく。
- ・若年性認知症についての啓発活動を行う。
- ・仲間を増やす。

【活動計画】

①カフェもぐもぐ定例会

目的：・若年性認知症の人や家族、仲間たちがほっとしてつながる場となる。
・若年性認知症の人が集い、生きがいを持って働くことができる場をつくる。

内容：・カフェでの食事づくりと昼食（午前）
・交流の時、その他（午後）
・外出プログラム（数回）
・交流と学びのためゲストを招待（数回）

対象者：若年性認知症の人とその仲間
実施日時：第1土曜日 10時30分～15時
実施期間／頻度（回数）：12回／年

実施場所：神戸YWCA分室 その他

備考：・スタッフミーティングは第3木曜日および第1土曜日終了後
・カフェもぐもぐだよりを発行する。（1回／年、秋頃）
・情報収集とネットワークづくり（他団体交流・施策・研修会参加）

②カフェもぐもぐフォーラム

目的：若年性認知症についての啓発活動

内容：未定

対象者：若年性認知症当事者、家族、団体、興味のある人
実施日時：未定。1回／年（秋頃）
実施場所：神戸YWCA本館、その他

③認知症サポーター養成研修

目的：認知症を学び地域で支えるためのサポーター養成

内容：神戸市の認知症サポーター養成研修（神戸市認定）

講師：キャラバンメイト（神戸市認定）

対象者：興味のある人、ボランティア希望者

実施日時：未定、1回（90分）／年 ＊6月頃

実施場所：未定

備考：講座修了者にはオレンジリングが手渡される。

■神戸YWCAまごの手

【活動方針・活動目標】

- ・高齢や障害疾病などにより支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために、居宅介護支援（ケアマネジメント）や訪問介護（身体介護、生活援助）などのサービスを行う。また、子育て中の家族を支援するために、家事援助や育児支援を行う。また、昨年度に引き続き、住宅確保要配慮者に対する居住支援相談援助を行う。
- ・神戸YWCA総合サポートセンター（仮称）の立ちあげに向けて、神戸YWCAの他の地域福祉活動と連携する。
- ・地域包括ケアの実現を目指して、神戸YWCAの地域福祉活動、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所などと連携を強化する。
- ・住宅確保要配慮者に対する居住支援相談援助を行う。
- ・利用者一人ひとりに寄り添い、要支援から要介護、ターミナルまで切れ目のない支援を提供する。
- ・よりよいサービス提供に繋がるよう、事業所体制を整え、研修を充実させる。
- ・次代を担う人材を確保し、育成する。

【活動計画】

1. 居宅介護支援事業

介護保険に関する相談、申請の代行、ケアプランの作成など、介護保険サービス利用の支援を行う。

- ・介護保険法に規定する居宅介護支援
- ・介護保険法に規定する介護予防支援（委託）

2. 訪問介護事業

支援を要する方々に対して、居宅などを訪問して、身体介護、育児支援、生活援助、家事援助などのサービス提供を行う。サービス種類は下記のとおり。

- ・介護保険法に規定する訪問介護
- ・介護保険法に規定する介護予防訪問サービス（神戸市介護予防・日常生活支援総合事業）
- ・介護保険法に規定する生活支援訪問サービス（神戸市介護予防・日常生活支援総合事業）
- ・障害者総合支援法に規定する居宅介護
- ・障害者総合支援法に規定する同行援護
- ・障害者総合支援法に規定する移動支援（神戸市地域生活支援事業）
- ・産後ホームヘルプサービス（神戸市養育支援訪問事業）
- ・養育支援ホームヘルプサービス（神戸市養育支援訪問事業）
- ・ほっとヘルパーサービス（神戸市認知症高齢者訪問支援員派遣事業）
- ・まごの手はあと（自費サービス）

3. 居住支援事業

- ・家賃債務の保証
- ・円滑な入居の促進に関する援助
- ・生活の安定および向上に関する援助
- ・居住支援協議会との連携
- ・その他の居住支援に資する取り組み

4. 研修・人材養成

- ・職員・ヘルパー向け研修（1回／月 実施）

■神戸YWCA保育園

【事業方針・事業目標】

- ・子どもたちの「今」を共に生きる。
- ・互いの存在を大切にしながら、子育てをしている人たちを支える。

【事業計画】

保育理念：キリスト教精神のもとに一人ひとりの身体と心に寄り添い、いのちを大切にする保育を目指す。

保育方針：・少人数で家庭的な環境で個性を大切にしつつ、生活習慣の基礎を身に着ける。

- ・温かいふれあいや遊びを通して、豊かな情操を養う。
- ・人との関わりや絆（愛・信頼）の基礎を培う。

開所日時：月曜日～土曜日 標準時間 7時30分～18時30分 短時間 8時30分～16時30分（延長保育有）

利用者：生後6か月～3歳未満児

定員：12人（ただし変動する場合有）

保育内容：・年齢、月齢にとらわれず、個々の子どもの成長に合わせた保育を行う。
・散歩や近所の公園で、楽しみながらできる遊びでしなやかな体をつくる。
・強い刺激ではなく優しい語りや歌、繰り返し読む絵本を大切にする。
・季節感、自然を取り入れた遊びで心を動かす体験を重ねる。
・子どもと共に祈る（毎日の祈りと讃美歌）
・季節やキリスト教の行事を大切にする。

職員体制：園長（常勤1）、保育士（常勤2、パート5）、支援員（パート1）、管理栄養士（パート1）、調理員（パート1）

その他：・避難訓練（1回/月）、救急訓練の実施（1回/2か月）
・近隣の小規模保育園や連携園との交流
・近隣の方々、地域とのつながり（花の日、地域行事参加）
・保育の質向上のため、自己評価制度を取り入れ、振り返りを行う。

<新しいプログラム>

①おかあさんものしんで！

内容：子育てをしながら働く女性が子どもと一緒にリラックスして参加できるプログラム。親子でヨガ、親子でフラワーアレンジ（講師・竹田）、親子で歌おう（講師・岩崎）、絵本よみきかせ（講師・保育士）、アロママッサージ（講師・藤原）、おしゃべり会など。軽食付き（参加費500円・食事親子で500円）

対象者：近隣の働く女性と子どもたち、卒園児親子、在園児親子

実施日時：1回/月 17時30分～18時30分

実施場所：神戸YWCA本館

備考：要事前申し込み

②小規模保育園ってどんなところ？

内容：土曜日に親子で保育園生活の体験をする。

対象者：近隣の0～2歳児と家族

実施日時：1回/月 土曜日9時30分～12時

実施場所：神戸YWCA保育園

備考：要事前申し込み

③おじいちゃん、おばあちゃん、あそぼ！

内容：高齢者とのふれあいと食事会

対象者：近隣の高齢者、会員

実施日時：1回/月 土曜日 9時30分～12時30分

実施場所：二宮公園、神戸YWCA保育園

備考：要事前申し込み

IV 生涯学習・人材育成事業

■愛農人倶楽部

【活動方針・活動目標】

- ・野菜づくりを参加者で楽しみ、野菜づくりを通じて色々なことを学ぶ。
- ・神戸YWCAなどで野菜を販売することで多くの方々に倶楽部を知っていただく。

【活動計画】

①農作業体験（定例会）

目的：農作業体験を通じて野菜の成長、収穫、食べる、参加者との交流、地域の方との交流を楽しむ。

内容：4月 ジャガイモ追肥、麦踏み／5月 えんどう豆摘み、夏野菜種まき／6月 ジャガイモ収穫、

さつまいも植付け／7月 大麦収穫、夏野菜の世話／8月 雑草刈り、夏野菜の世話／9月 大根、蕪種まき、白菜苗植付け／10月 さつまいも収穫、大根間引き／11月 農園餅つき大会、玉葱植付け、豆類種まき、大根追肥／12月 大根収穫／1月 大根収穫／2月 玉ねぎ追肥／3月 親睦会、じゃがいも植付け

対象者：大人、子ども

実施頻度（回数）：12～15回／年

実施場所：神戸市北区道場 風キャビン農園

②収穫祭

目的：みんなで収穫し、料理で食べる楽しみを満喫し、参加者や地域の方々との交流を楽しむ。

内容：野菜収穫と料理作り

対象者：大人、子ども

実施日時：夏、秋、冬（6月か7月、10月、12月、2月）

実施場所：神戸市北区道場 風キャビン農園もしくは神戸YWCA分室

③じゃがじゃがいも掘り

目的：じゃがいも掘りの楽しさ、農作業の素晴らしさ、地域の人との交流

内容：じゃがいも掘り

対象者：大人と子ども

実施日時：1回／年（6月～7月上旬）

実施場所：神戸市北区道場 風キャビン農園

④さつま芋ほりほり

目的：さつま芋掘りの楽しさ、農作業の素晴らしさ、地域の人との交流

内容：芋掘り体験

対象者：大人と子ども

実施日時：1回／年（10月～11月上旬）

実施場所：神戸市北区道場 風キャビン農園

⑤農園もちつき大会

目的：もちつきと農作業体験と地域の人との交流

内容：大根収穫ともちつき体験

対象者：大人と子ども

実施日時：1回／年（11月）

実施場所：神戸市北区道場 風キャビン農園

⑥うんとこしょ、どっこいしょ、の大根抜きと撮影会

目的：大根収穫の楽しさ、農作業体験と地域の人との交流

内容：大根収穫、大根との記念撮影

対象者：大人と子ども

実施日時：1回／年（12月）

実施場所：神戸市北区道場 風キャビン農園

■アフタヌーン・ティー

2020年度については未定

■文学講座

【活動方針・活動目標】

前年度に続けて「枕草子」を読む。学び続けるということ、歳を重ねるといふ現実の前に大切なことだと思っている。

【活動計画】

目的：文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。

内容：清少納言「枕草子」をメンバーで読む。

対象者：会員、一般

実施日時：第3火曜日 13時30分～15時30分

実施頻度（回数）：11回／年（8月は除く）

実施場所：神戸YWCA本館

■マザースカレッジ企画会

【活動方針・活動目標】

- ・一人ひとりがよりよく生きるために、子ども、大人が本と出会うことを支援する。
- ・「ことばの力」「ひとが生きる糧」「人が育つ」をキーワードに、研究会、講演会を実施する。
- ・活動を通して得た力をもとに、共に社会を変える一歩を踏み出す。

【活動計画】

＜ストーリーテリング研究会＞

目的：ストーリーテリングを通し、子ども、大人が本と出会うことを支援する。

内容：ストーリーテリング、児童文学、詩の研究

対象者：図書ボランティア

実施日時など：第4金曜日

実施頻度（回数）／期間など：7回／年

実施場所：神戸市青少年会館

＜真生塾＞

目的：児童養護施設の子どもたちにおはなしや絵本を届ける。

内容：ストーリーテリング、読み聞かせ

対象者：4、5歳の幼児

実施日時など：第3日曜日 13時30分～14時

実施頻度（回数）など：10回／年

実施場所：真生塾

■わいわい科学クラブ

【活動方針・活動目標】

- ・身近な題材で科学的実験や物づくりを体験する「わいわい科学クラブ出前教室」の活動を行う。
- ・出前教室で取りあげる実験や物づくりプランを整えるなど「わいわい科学クラブ出前教室」の態勢を作る。
ホームページを作り直し、外部にも発信したい。
- ・「わいわいデイルーム」や「はっぴーすくーる」に出向き、高齢者や外国にルーツをもつ子どもたちに実験や物づくりの楽しさを知らせる。

【活動計画】

①わいわい科学クラブ出前教室

目的：「わいわいデイルーム」や「はっぴーすくーる」のプログラムのひとつとして実施する。

内容：身近な科学的事象をテーマとした実験や工作活動を体験する。

対象者：高齢者、外国にルーツをもつ子どもたち（小・中・高生）

実施日時：わいわいデイルーム（火曜午後の1時間）、はっぴーすくーる（土曜午後の1～2時間）

実施頻度（回数）：わいわいデイルーム1～2回／年、はっぴーすくーる1～2回／年

実施場所：神戸YWCA分室や本館

神戸YWCA学院

■日本語コース

【事業方針・事業目標】

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行う。

【事業計画】

①レギュラーコース

目的：短期集中型で日本語を総合的に学びたい学習者を対象にした1日3時間、週5日または週3日のクラス。

日本で生活している、または、生活する予定がある学習者を対象に、すぐに使える実用的な日本語のレッスンをを行う。日本語の構造、聞く、話す、書く、読むを総合的に学習することで、実用的で正しい日本語を身に付けることを目指す。

内容：文法、会話、発音、文字など

対象者：初級～中級

実施日時：2020年4月～2021年3月

実施期間：3学期制、12週／期

5回／週（初級コース）・3日／週（中・上級コース）、各日3時間

実施場所：神戸YWCA本館

備考：1期：4月6日（月）～7月3日（金） * 5月4日（月）～5月8日（金）休み

2期：9月7日（月）～11月27日（金）

3期：12月7日（月）～3月5日（金） * 12月25日（金）～1月5日（火）冬季休講

②プライベートレッスン

目的：学習者が学びたい内容を学習者に合ったレベルとペースで学ぶ。

内容：受講生の希望に沿う

対象者：個別レッスン希望者、ビジネス日本語の勉強の希望者など

実施日時：2020年4月～2021年3月

実施期間：10回／1クール、各日90分、子ども各日45分

実施頻度（回数）：随時

実施場所：神戸YWCA本館

備考：セミプライベートレッスン（2人～4人）あり

派遣プライベートは、派遣手数料3,000円（税抜）／回で対応する。

③兵庫県高等技術専門学校委託訓練事業「定住外国人向け日本語・就業カスキルアップコース」（予定）

目的：正式な日本語教育を受ける機会がなかった外国人（日本国籍含む）生活者が将来自立した生活を営めるよう、日本語と基礎的なビジネススキルのレベルアップを図る。

内容：就職に必要な正確な基礎日本語、面接時の日本語、ビジネスマナー、基礎的なITスキル、職場見学、職業人講話など（予定）

対象者：初心者向け（予定）

実施日時：2020年9月下旬～12月下旬（予定）

実施期間：3か月（予定）5日／週、各日9時30分～16時10分（50分×6コマ）（予定）

実施頻度（回数）：1回／年（予定）

実施場所：神戸YWCA本館

備考：受講者申込先などはハローワーク

④兵庫県国際交流協会委託事業「はっぴー・すくーる 神戸YWCA」

目的：当事業は以下の4つのプログラムで構成される（予定）

<ママの日本語クラス>

日本語を母語としない外国人（日本国籍も含む）の母親および妊娠中の方を対象に、出産や育児、日本社会における子育てに関する基礎的な日本語学習の機会を提供する。同時に、日本語が不自由なため地域で孤立しがちな母親たちが互いの悩みや意見を交換し、支え合うセーフ・スペースおよびネットワーク・スペースの確立を目指す。

<はっぴー・さぼーと>

日本語を母語としない外国人（日本国籍も含む）児童・生徒を対象に、学校の勉強に必要な科目学習の提供と、居場所づくりを行う。

<はっぴー・すくーる>

外国人児童生徒の進路や進学をサポート。

実施頻度（回数）：ママの日本語：2回／月（予定）

はっぴー・さぼーと：週1回、毎週土曜日

はっぴー・すくーる：年4回（予定）

実施場所：「ママの日本語」は神戸YWCA本館、賀川記念館（予定）

⑤神戸YWCA学院奨学金事業・兵庫県国際交流協会委託事業

「勉強に役立つ日本語クラス」

目的：日本語を母語としない13歳～18歳までの外国人児童・生徒（日本国籍も含む）の生活日本語と教科日本語を指導する。

内容：日本語指導、教科日本語指導

対象者：日本語を母語としない13歳～18歳までの外国人児童・生徒（日本国籍も含む）

実施日時：2020年8月3日（月）～8月21日（金）（予定）

実施期間：3週間、5日／週 各日9時30分～13時20分

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：神戸YWCA本館

⑥日本語能力試験対策講座

目的：日本語能力試験の対策

内容：日本語能力試験に対応した、効果的な学習方法を学ぶ

対象者：N3～N1

実施日時：2020年5月～6月、10月～11月

実施期間：全8回程度、90分/回

実施頻度（回数）：2回

実施場所：神戸YWCA本館

⑦キリスト教関連日本語コース

目的：日本の教会で礼拝や説教を行っている方向けの日本語、原稿添削 他

内容：日本語、礼拝・説教原稿日本語添削 他

対象者：中級

実施日時・期間など：随時

実施場所：神戸YWCA本館

⑧企業等で働く外国人の日本語クラス

目的：技能実習生などで来日した方が、企業で働き、日本でクラスのために必要な日本語を学ぶ。企業への講師派遣も含む。

内容：文法、会話、発音、文字など

対象者：初級

実施日時・頻度など：随時

実施場所：神戸YWCA本館、派遣先

⑨親子のためのプレスクール

目的：幼稚園、保育園などに通う外国人親子が、公立小学校入学に備えた日本事情や日本語を学ぶ。

内容：幼稚園、保育園などの行事等に合わせて必要な日本語を学ぶ。

公立小学校の入学準備を行う。

対象者：幼稚園、保育園などに通う外国籍の母親

実施日時：随時

実施期間：2020年4月～2021年3月

実施頻度（回数）：1回/月

実施場所：幼稚園・保育園など

備考：定期的にクラスを持つことで、外国籍のお母さん同士の交流の場となり、居場所となるクラスを目指す。

■日本語教師養成コース

【事業方針・事業目標】

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師や日本語ボランティアを養成する。

【事業計画】

①夏期日本語集中講座

目的：帝塚山学院大学、神戸女学院大学の実習の受け入れを行う。

内容：帝塚山学院大学、神戸女学院大学の実習の受け入れ

実施日時：8月3日（月）～8月7日（金）（予定）＊8月1日（土）準備

実施期間：5日間

実施頻度（回数）：1回

実施場所：神戸YWCA本館

備考：プレースメントテストは7月4日（予定）に実施する。

②日本語ボランティア養成講座

目的：日本語ボランティアの入門講座

内容：日本語教育の考え方を講義・演習で学ぶ

対象者：日本語に興味がある方、日本語ボランティアをしてみたい方、現在ボランティアをしているが教え方が分からない方など

実施日時：土曜日 10:00～12:30 全5回

実施期間：①5月16日～6月13日（予定）②10月3日～10月31日（予定）

実施頻度（回数）：2回

実施場所：神戸YWCA本館

備考：日本語コースのはっぴー・すくーる、はっぴー・さぼーと、ママの日本語などへのボランティア活動へつなげられるように取り組む。

③日本語教師スキルアップ講座

目的：教師経験がおおむね3年以下の日本語教師のスキルアップ

内容：日本語教育について基本的な知識は持っているが、実際の教え方がわからない人などが、授業準備や教案の書き方のポイント、クラス運営の流れなどを学び、実践する。別途、プライベートレッスン（相談）も受講可能とする。

対象者：日本語教育に携わっている新人日本語教師など

実施日時：3月（予定）

実施期間：3月（予定）

実施頻度（回数）：1回

実施場所：神戸YWCA本館

④「やさしい日本語」講師派遣

目的：日本人と外国人の共生のツールのための「やさしい日本語」の普及

内容：「やさしい日本語」の出前ワークショップ

対象者：国際交流協会、市役所窓口、日本語ボランティア教室、外国にルーツをもつ子どもの通う学校や保育園・幼稚園、自治会など

実施日時・期間など：随時

実施場所：派遣先

⑤アドバイザー派遣

目的：日本語ボランティアへのアドバイス

内容：日本語ボランティアへのアドバイス

対象者：国際交流協会、日本語ボランティア教室など

実施日時・頻度など：随時

実施場所：派遣先

■外国語コース

【事業方針・事業目標】

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応えたクラス・プログラム運営に努める。

【事業計画】

①レギュラーコース

目的：国際理解のための外国語をネイティブ講師から学び、コミュニケーションスキルを伸ばせる少人数のクラスを提供する。

内容：英語（初級～中上級4クラス）・準中級ハングル（1クラス）を実施

対象者：一般

実施日時：火、水、木、土曜日 11時15分～12時45分、13時30分～15時、18時30分～19時45分（計5クラス）

実施期間：年3学期制

実施頻度（回数）：各学期12回（週1回）

実施場所：神戸YWCA本館

②プライベートコース

目的：個人または少人数グループのニーズに応じた形でフレキシブルな外国語のレッスンを提供する。

内容：英語（要望があれば他の外国語も）のプライベートレッスンを実施

対象者：一般

実施日時：学習者のニーズにあわせて日時・講師を決定

実施期間：随時

実施頻度（回数）：原則週1回（90分レッスン）、10回1クール

実施場所：神戸YWCA本館

③カスタムコース

目的：学習者の目的に特化した内容でカスタマイズした外国語クラスを提供する。

内容：・All Together（海外帰国生など英語学習経験のある子どものための英語クラス。年少児～中学生対象、個々の希望に沿った形で英語を保持）

・シニア英会話

対象者：All Together（5歳～中学生）、シニア英会話：一般 *原則として3人以上で開講

実施日時：・All Together：土曜日（11時15分～12時45分、13時45分～15時15分、15時30分～17時の3クラス）

・シニア英会話：火曜日（10時30分～12時）

実施期間：年3学期制

実施頻度（回数）：All Together：春学期13回、秋学期13回、冬学期10回 シニア英会話：各学期12回

実施場所：神戸YWCA本館

④オフキャンパス

目的：他の団体・グループに講師を派遣し、外国語レッスンの業務を請け負う。

内容：・コープカルチャー宝塚（英語2クラス）

・兵庫県Dクラス（英会話1クラス）

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校

①外国語I 英会話（1年生2クラス）

②外国語II 英語（2年生2クラス）

・関西労災看護専門学校（英語1年生2クラス）

対象者：一般、兵庫県職員、専門学校生

実施日時：コープカルチャー宝塚：木曜日／兵庫県Dクラス：木曜日／関西労災看護専門学校：月曜日／

公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校：火・金曜日

実施期間：・コープカルチャー宝塚・兵庫県Dクラス：年間を通じて開講

・関西労災看護専門学校 2020年10月～2021年1月（後期）

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校①2020年4月～2021年2月②2020年4月～10月

実施頻度（回数）：・コープカルチャー宝塚・兵庫県Dクラス：30回程度／年

・関西労災看護専門学校 27回

・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校 ①56回②30回

実施場所：コープカルチャー宝塚、兵庫県職員会館、公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校、関西労災看護専門学校

⑤JOES

目的：公益財団法人海外子女教育振興財団の外国語保持教室（神戸教室）に主任講師および講師を派遣する。

内容：海外帰国生を対象とした英語保持プログラム

対象者：海外帰国生（小学2年生～中学3年生）

実施日時：土曜日 14時15分～15時45分、16時～17時30分

実施期間：4月～3月（年3学期制）

実施頻度（回数）：年36回

実施場所：東京国際ビジネスカレッジ神戸校

⑥特別講座

目的：外国語をコミュニケーションツールのひとつと捉え、言葉の背景にあるカルチャーへの理解を深めることで多文化共生の地域づくりに活かす。

内容：・「英語で聴く！」シリーズ（様々なテーマの講座を英語だけで聴く）

・「外国語に触れる」シリーズ（地域で暮らす外国人の多様な母語について知ることのできるミニ講座）

対象者：一般

実施日時：不定期

実施期間：随時

実施頻度（回数）：各3回程度／年

実施場所：神戸YWCA本館

■地域福祉コース

【事業方針・事業目標】

神戸YWCAまごの手で地域福祉に関する研修を推進するため、2020年度の地域福祉コースの設置については要検討。

■文化教養コース

【事業方針・事業目標】

一人ひとりがエンパワメントされるために必要な知識やスキルを提供する。

【事業計画】

①ピアノ教室

目的：ピアノのレッスンを通して生涯学習として音楽を楽しむ。

内容：受講者一人ひとりの目標やレベルに合わせる。

対象者：初めての人、もう一度習いたい人、子どもから大人までレベルを問わない。

実施日時：1回/週、月曜コースのみ

実施場所：神戸YWCA本館（予定）

②発声&歌唱教室

目的：全身を使って歌い、表現することで、リフレッシュする。

内容：腹式呼吸を身につけて、深い呼吸で歌い、声量や声域の幅を広げていく。唱歌・抒情歌・歌曲等、受講生の希望する曲から取りあげて歌う、グループレッスン。

対象者：一般

実施日時：1回/月（第1月曜日 19時～20時）

実施場所：神戸YWCA本館

V 活動共通事業

■キリスト教基盤部

【活動方針・活動目標】

標語聖句が具体的に会員に浸透するような働きを考える。

【活動計画】

①神戸YMCA/YWCA合同祈禱週

目的：世界中のYMCA/YWCAは、毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする1週間を合同祈禱週とし、1904年以来毎年共に祈りの時を守っている。この1週間、YMCA/YWCA運動が、よりよい世界を実現するための基盤となる魂のビジョンを再確認する。

内容：・合同祈禱週礼拝

・期間中それぞれがプログラムを計画（1回～数回）

対象者：神戸YMCA会員、神戸YWCA会員および一般

実施日時：2020年11月8日（日）～14日（土）＊礼拝は2020年11月10日（火）（予定）

実施場所：神戸YWCA、神戸YMCA、その他

②神戸YWCAクリスマス

目的：・会員がクリスマスの意味を学ぶ。

・イエスの誕生の喜びを届け、共に祝う。

内容：クリスマス礼拝と祝会、クリスマスマーケット

対象者：神戸YWCA会員および一般

実施日時：2020年12月5日（土）（予定）

実施場所：神戸YWCA本館チャペル

③神戸市民クリスマス

目的：・クリスマスの喜びを知り、共に祈ることの大切さを確認する。

・他のキリスト教団体との協働によるエキュメニカル運動を目指す。

内容：年度ごとに実行委員会で検討する。

対象者：神戸市民など

実施日時：12月11日（金）予定

実施場所：確認中

備考：神戸市内および近郊のキリスト教諸教会と神戸YMCA、神戸YWCAが協力して実行委員会を組織し、開催する。会場教会は持ち回り。

④世界祈禱日

目的：世界祈禱日国際委員会が中心となり、世界中で教会の女性たちによって実施される。テーマにそって共に祈り合い、キリストの愛を世界に広める。世界祈禱日の献金は、式文作成国の女性たちの活動、また、国内外の女性たちのための活動に捧げられる。

内容：礼拝（礼拝内容企画の担当団体の持ち回り）

対象者：神戸阪神地区キリスト教各教会教派・団体メンバーおよび一般

実施日時：2021年3月6日（金）予定

実施場所：確認中

備考：1887年アメリカの女性たちが移住者や抑圧されている人々を忘れないために、世界祈禱日を始めた。その後二度の世界大戦を経験し、和解と平和を求める祈りへと教派を超えて広がった。

⑤神戸YMCA/YWCAイースター早天礼拝

目的：神戸YMCA/YWCA会員とともにイースターの意味と喜びを知る。

内容：イースターエッグを制作（神戸YWCA担当）、イースター礼拝および交わりのひととき（YMCA/YWCAで礼拝役割分担あり）

対象者：神戸YWCA会員、神戸YMCA会員、職員

実施日時：2020年4月12日（日）7時～8時 * 2020年度は2021年4月4日（日）予定

実施場所：東遊園地（雨天未定）

■讃美歌を歌おうかい

【活動方針・活動目標】

讃美歌を歌う楽しさを存分に味わう。神戸YWCAの基盤に沿って、心を寄せ合っていく。

【活動計画】

目的：讃美歌を歌う。

内容：讃美歌Ⅱ編および讃美歌21より歌う。

対象者：会員、一般

実施日時：第1木曜日15時～16時

実施頻度（回数）：11回/年（8月を除く）

実施場所：神戸YWCA本館

■聖書を読む会

【活動方針・活動目標】

聖書を丁寧に学ぶことにより、イエスの愛と平和を学ぶ。YWCAの基盤を大切にしていきたい。

【活動計画】

目的：聖書をより深く読む。

内容：イエスの愛と平和を学ぶ。

対象者：会員、一般

実施日時：第1木曜日13時30分～15時

実施頻度（回数）：11回/年（8月を除く）

実施場所：神戸YWCA本館

■会員委員会

【活動方針・活動目標】

今年度の会員委員会は、神戸YWCAが100周年を迎えるにあたり、長年活動をされてきた会員の方から思いを語って頂く集いを開催する。

【活動計画】

①会員サービスの向上

目的：神戸YWCAの全会員、会友に神戸YWCAからの親睦のメッセージを届ける。

内容：誕生カード、グリーティングカード、神戸YWCA100周年のお誘いなどの発送

対象者：会員、会友

実施日時：随時

実施場所：神戸YWCA本館

②神戸YWCA100年「思いをつなぐ会」

目的：神戸YWCAの活動を積み重ねてこられた会員のお話を聞くことで、YWCAの次世代へ思いをつなげる。

内容：シニア会員のお話と多世代交流。

対象者：会員、会友（新旧）、神戸YWCAに関心のある方

実施日時：3回/年 ①5月9日（土）②9月26日（土）14時～15時30分まで

実施場所：神戸YWCA本館

■運営委員会

【活動方針・活動目標】

100周年以降の神戸YWCAの活動全体の中で、会員活動が社会変革を目指す市民運動としての役割を担

えるように、その役割と活動を明確にし、具体化する。

【活動計画】

①定例運営委員会

目的：活動方針・目標を達成するための議論と決定

内容：会員活動関連、世界YWCA、日本YWCA、他市YWCA、他団体からの要請および連帯など

対象者：運営委員

実施頻度：12回／年

実施場所：神戸YWCA本館

②日本YWCA「地域YWCAを主体とした活動（LA）第Ⅱ期」連携事業 会員のパワーアップ計画第2弾

目的：4市YWCA（京都、大阪、名古屋、神戸）の会員、特に運営委員が元気になり会員活動を活性化させる。

そのための研修モデルづくりに取り組む。

- ・4市YWCAが若い女性のためのセーフスペースと、リーダーシップ養成（事業）に関するビジョンと事業計画を持つ。

内容：4市YWCA合同合宿など

対象者：4市YWCAの運営委員、会員

実施日時：未定

実施場所：大阪YWCA

備考：主担当は京都YWCA

③第101回定期会員集会

目的：神戸YWCAの会員が主体的に組織運営にかかわること、ならびに会員どうしの交流

内容：・2020年度活動報告と2021年度活動計画の承認。

- ・100周年以後の神戸YWCAのビジョン、組織の形の承認。

対象者：会員（会友、その他希望者も参加可能。ただし議決権はない）

実施日時：2021年3月13日（土）

実施頻度：1回／年

実施場所：神戸YWCA本館

④世界YWCAデー

目的：世界YWCAデー（毎年4月24日）を通して、世界中のYWCAの働きを覚え、互いの活動を知り、応援する。特に2020年度は、神戸YWCA100周年イヤーであり、神戸YWCAの先輩方の経験から学び、交流の時とする。

対象者：会員、会友、および一般

実施日時：5月9日（土）

実施場所：神戸YWCA本館

⑤つながるプロジェクト

目的：会員のエンパワメントおよび情報交換

内容：会員活動の情報を共有する「つながるメール」の配信と、顔を合わせる場づくりを実施する。

対象者：「つながるメール」は会員対象、場づくりは会員および一般

実施日時：「つながるメール」配信は運営委員会開催後速やかに実施

実施頻度：随時／年

⑥ボランティア説明会

目的：神戸YWCAの新しい仲間を募る。

内容：・世界にネットワークをもつ国際NGOである神戸YWCAを紹介

・神戸YWCAの活動紹介、参加を希望する活動の紹介など

・神戸YWCA会員制度の紹介

対象者：初めて神戸YWCAで活動する人、活動したいと思う人

実施頻度：随時

⑦会員新組織ミーティング（仮）

目的：100周年以後の神戸YWCAの会員活動のテーマを明確にし、具体化する。

内容：ミーティングの開催など

対象者：会員、理事、職員

実施日時：7月か8月、および11月

VI 広報・ファンドレイジング

■機関紙編集部

【活動方針・活動目標】

会員、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体はじめ、広く一般に神戸YWCAの活動を伝えるために機関紙を発行する。

【活動計画】

①神戸YWCA機関紙発行

目的：会員をはじめ、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体など広く一般に神戸YWCAの活動を伝えるために機関紙を発行する。

内容：1面：神戸YWCAの方針に沿ったオピニオン記事記載（年に3回程度外部執筆者に依頼）

2～3面：各部・グループの活動やイベントの予告・報告記事、連載記事（「たてごと」「あの不思議な光景を見届けよう」「はっぴーあるばむ」など）

4面：事業関係、神戸YWCAイベント予告、お誘い、事務報告

対象者：会員、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体

実施日時：6回／年、隔月初め発送（4月、6月、8月、10月、12月、2月）

実施場所：神戸YWCA本館

備考：各号発行毎に1回の部会と約4回の編集・発送作業を行う。

- ・部会（紙面内容検討、原稿依頼状送付）
- ・編集・発送作業（原稿催促、生原稿チェック、原稿打ち込み、レイアウト作業、レイアウトチェック、最終校正、印刷発注、発送（執筆者への礼状同封）
- ・発送時に日本YWCA機関紙と神戸YWCAの各部・グループ主催のイベント・講演会のチラシを同封。

■100周年記念事業実行委員会

【活動方針・活動目標】

神戸YWCAは2020年3月に創立100周年を迎える。100周年に向けて、記念事業全体の企画・運営を行う。

【活動計画】

①記念式典

目的：神戸YWCAに関わった方々への感謝を表し、新しいスタートに際して心をひとつにする。

内容：未定

日時：2021年3月20日（土）

場所：日本基督教団神戸聖愛教会（予定）

対象者：会員、会友、賛助員、他市YWCA、関係者・団体

②記念募金

目的：100周年を機に、神戸YWCAへの支援を募る。

内容：募金使途は100周年事業および100周年以後の神戸YWCAの活動のため。目標額は2年間で1,000万円とする。

③記念誌

目的：2021年3月の記念式典までに神戸YWCA100年の歴史をまとめたものの完成を目指す。

内容：・個人収蔵の資料提供、聞き取り、書きおこしなど

- ・写真整理
- ・年表整理

④記念事業

目的：すべての会員と共につくりあげる100周年とする。

内容：・100周年記念事業を盛りあげる。（記念ロゴやクリアファイルの利用）

- ・平和の旅 韓国旅行の計画と実施
- ・100周年募金につなげるイベント実施

■ファンドレイジング実行委員会

【活動方針・活動目標】

- ・会員活動の、持続可能なファンドレイジングの形を検討および実施する。
- ・マネジメントの視野をもったファンド・広報を考える。

【活動計画】

①定例ミーティング

目的：マネジメントの視野を持ち、持続可能なファンドレイジングを目指す。

内容：バザーおよびそれ以外にファンドとなりうる活動の検討

対象者：委員会メンバー

実施頻度（回数）／期間など：1回／月

実施場所：神戸YWCA本館

②チャリティー・ドリップコーヒー

目的：神戸YWCAオリジナルパッケージのチャリティー・ドリップコーヒーを販売することで神戸YWCAを広く知ってもらい、活動資金を得る。

内容：チャリティー・ドリップコーヒーの販売

対象者：一般

実施頻度（回数）／期間など：随時

実施場所：神戸YWCA本館

Ⅶ 理事会

【方針・目標】

- ・将来の時代状況の変化を見据え、中長期的視点に立って事業課題を解決する。
- ・会員活動の活性化のために、安定的な組織運営と各事業の有機的な連携を目指す。特に「総合サポートセンター構想」を実現する。
- ・100周年（2020年）以降の神戸YWCAのビジョンの明確化

【活動計画】

- ・プロジェクトYの取り組みを継続する。
- ・事業と財政の再評価を行ない、中長期計画をたてる。特にまごの手を含めた地域福祉事業の改革および居住支援事業の推進、社会変化に応じた日本語教育事業を展開する。
- ・2020年の100周年にむけて、100周年以後の神戸YWCAのビジョンを明確にし発信する。

公益財団法人 **神戸YWCA**

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10
tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692
e-mail: office@kobe.ywca.or.jp
www.kobe.ywca.or.jp

2020年、神戸YWCA創立100周年

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
(Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際 NGO です。

